

## 大垣市議会、政務調査費を廃止！ ～過去の使い道を市民に公開せず～

大垣市議会は10日に臨時会を開催し、政務調査費交付に関する条例の廃止議案を賛成多数で可決しました。この日は改選後初の臨時会で、はじめての議会運営委員会に自民クラブより政務調査費の廃止案が提案されました。委員外の議員から「いきなりの廃止ではなく減額や領収書の公開を検討しては」といった意見が出されましたが、議会運営委員会構成会派の議員提案で本会議に上程され可決しました。

私は政務調査費について市民に公開するよう、再三議長に申し入れてきました。先の選挙では、「領収書の添付」や「使途の公開」など条例改正を求めていこうと公約の中でも訴えてきました。しかし今回の政務調査費全廃については、過去の政務調査費の使途を明らかにせず、闇に葬る形で廃止ということになり、未だ釈然としません。しかし、「財政事情」を出されては反対することもできませんので、消極的に賛成しました。

市議会議員 笹田トヨ子

### 政務調査費とは

政務調査費は「議員の調査研究に資するため必要な経費の一部」として、議員一人当たり月額10万円が各会派に対して交付されていました。一人会派の笹田には120万円、最大会派の自民クラブは議員14名で1680万円、5名の民主クラブは600万円、3名の公明党は360万円です。年度が終了した段階で収支報告書を議長に提出し、交付された政務調査費が余れば返還することになっています。過去の政務調査費がどれだけ使われているか平成15年から17年までの決算書から表1に示しました。これを見ると予算に対して執行率は98%、殆どの政務調査費は使われていることが分かります。しかしどのように使われたか領収書添付の義務もなく、報告書の公表もないためさっぱり分かりません。この政務調査費がどのように使われているか、市民に公表されていないことが問題です。

### 笹田トヨ子の場合

私は議員になって1年目のときは、この政務調査費を使って自治体の視察を何ヶ所か行い、大変勉強になりました。2年目からは市政を市民のものにするために、また市民の声を議会に反映させるため「議会だより」を発行して、政務調査費を大いに活用しました。

政務調査費は公費を投入しているので、市民に公開する義務があります。今回の政務調査費廃止は、過去の使途について不問にするものです。私は政務調査費の趣旨に沿って「政務調査費収支報告書」（平成17年度）を公表します。もっと詳しく知りたい方は連絡ください。

### 無駄使いは他にある

政務調査費が無駄使いかどうかは、その使途など内容を見て判断されるべきものです。むしろ無駄使いをなくすというのであれば、議員の海外視察費を廃止するべき

年度	議員定数	予算(千円)	決算(千円)	執行率(%)	備考
H15年度	28	34,000	33,366	98.1	4月のみ 定数32
H16年度	28	33,600	32,962	98.1	
H17年度	28	33,600	32,895	97.9	

表1 政務調査費の執行状況（平成15年度～17年度）

※平成18年度はまだ決算書が出ていません。

科目	決算額(円)	摘要
研究研修費	29,500	研究会・研修会の参加費など
調査旅費	177,600	研修会や視察に要した旅費宿泊費等
資料作成費	263,282	HP作成費、印刷費、事務用品等
資料購入費	389,732	書籍・新聞など
広聴費	317,335	議会報告会会場費、議会だより発行費
その他経費	11,185	郵便料金、手数料
合計	1,188,634	

表2 平成17年度、笹田トヨ子の政務調査費収支報告書

※残金11,366円を返還

です。議員の海外視察費は毎年約420万円程が予算化されていますが、この海外視察費こそ年功序列的、論功行賞的な性格が色濃く、無駄使いの最たるものだと思います。私は予算編成に当たり、毎年この海外視察費を廃止するべきと主張してきました。